

都市構造可視化計画サイトの活用 ～立地適正化計画策定に向けた活用～



北海道当別町企画部まち再生室

1.立地適正化計画策定について

立地適正化計画策定の目的

・既にある程度の高い人口集積と都市機能の集約によるコンパクトな都市空間が形成されているが、20年後は・・・

人口減少・少子高齢化による低未利用地の増加及びスポンジ化



生活サービス施設が減少し、都市の魅力低下



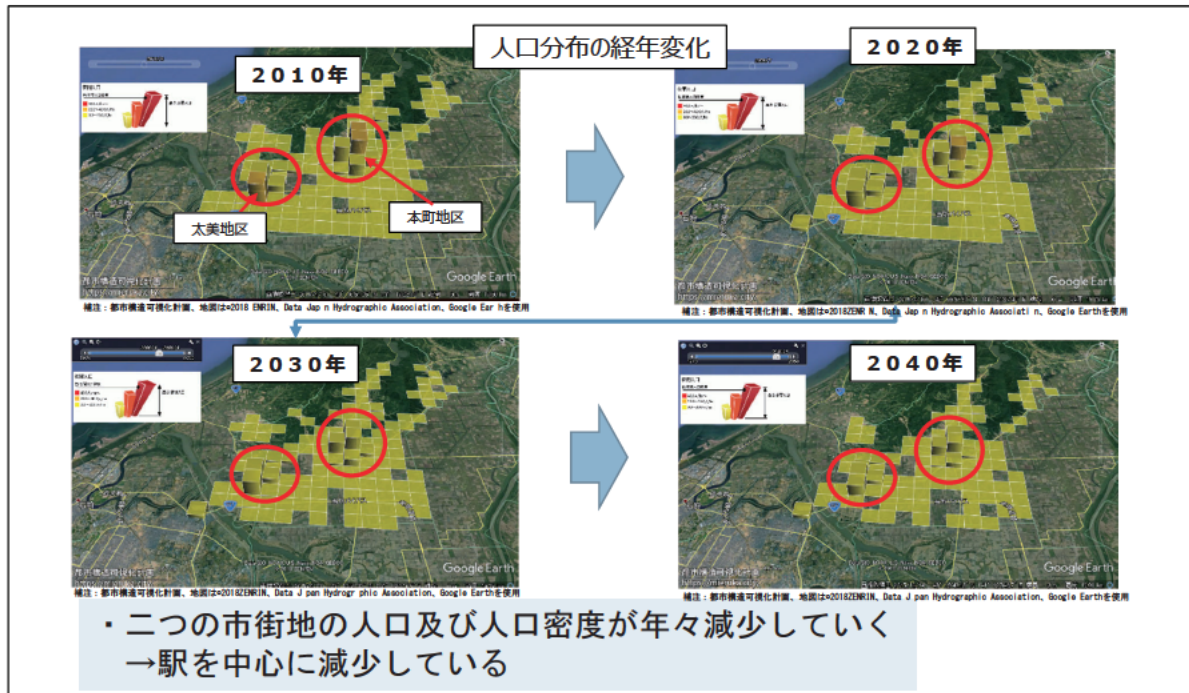
更に人口減少という『負のスパイラル』



・既存ストックを有効に活用しながら、よりコンパクトで利便性と持続性の高いまちづくりを進める。

1.立地適正化計画策定について

人口減少を見える化

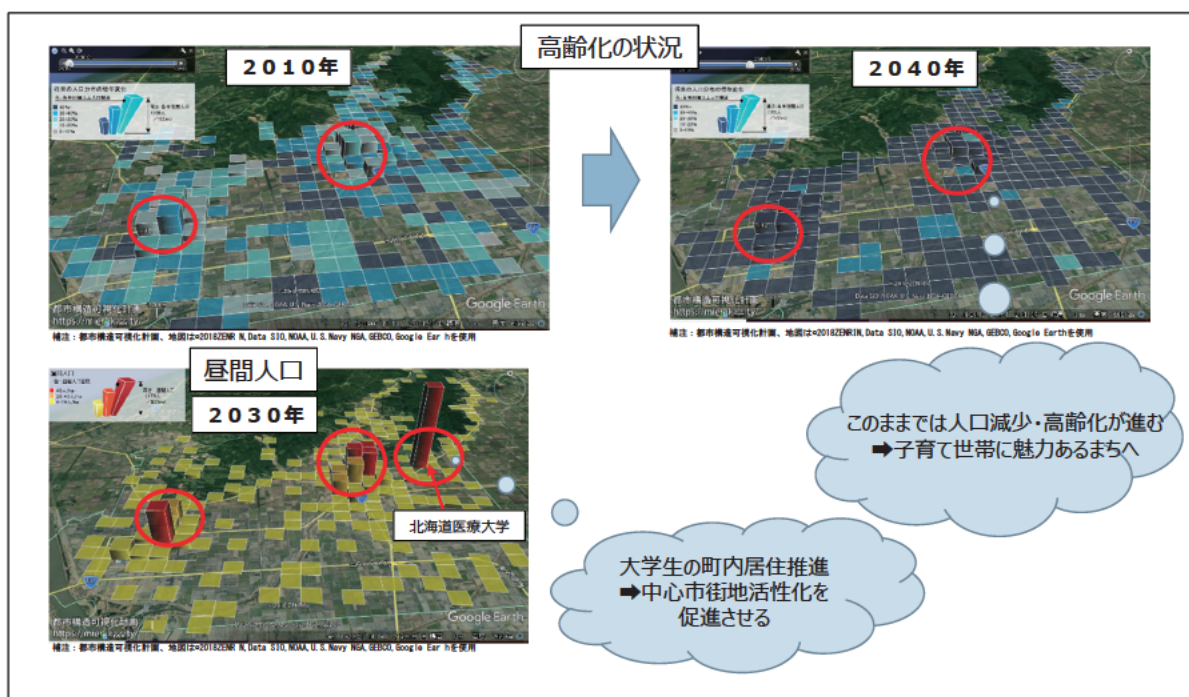


i-都市交流会議2020

3

1.立地適正化計画策定について

ターゲット層の検討

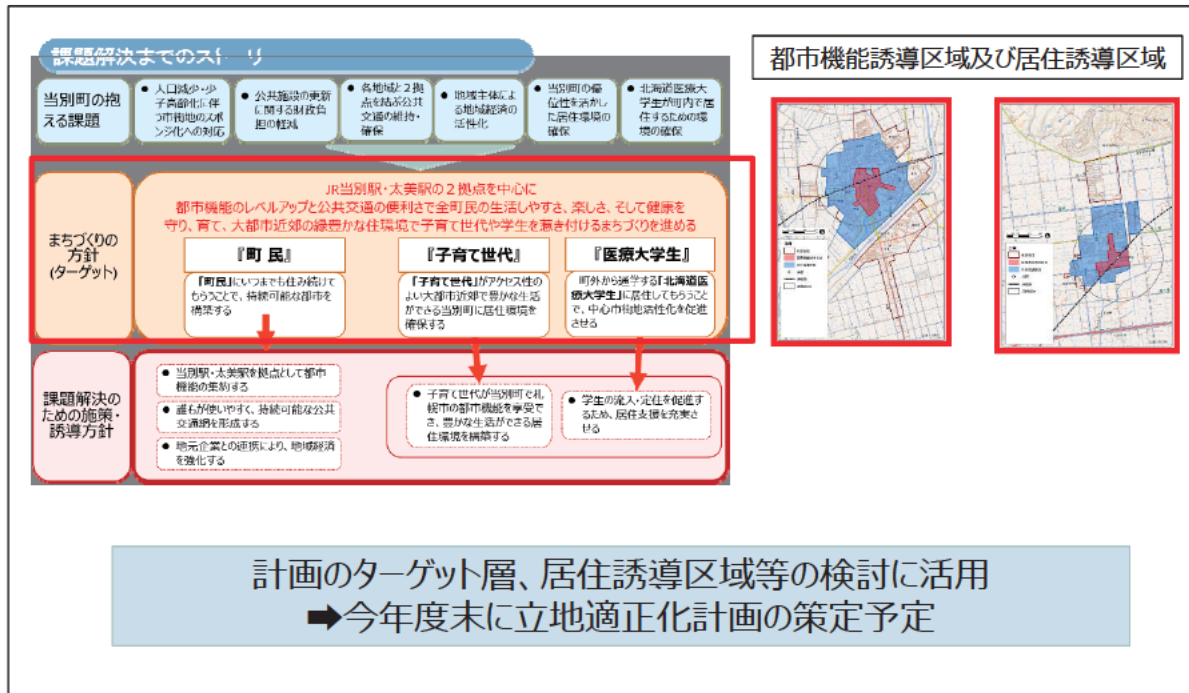


i-都市交流会議2020

4

1. 立地適正化計画の策定について

都市構造可視化サイトの活用結果



i-都市交流会議2020

5

2. その他業務での活用

当別町の紹介

当別町に将来的に企業を考えている高校生に都市構造可視化計画サイトを用いて町の紹介を実施。
周辺自治体との人口動態の比較や高齢化の状況を用いて、当別町の現状と将来について説明を行った。



i-都市交流会議2020

6

3.まとめ

都市構造可視化計画サイトを活用して

【感じたこと】

□ 様々な人に興味を持ってもらえる。

→例えば、人口動態等について、グラフ等で見せるよりも、可視化サイトを用いて視覚的に人口の見せることで具体的なイメージができるため、一般の人にも分かりやすく、受け入れやすいシステムであると感じた。

【課題】

□ GISを活用できる部署及び職員が少ないため、今後の普及は課題である。

□ インターネット環境のないところでも利用できれば利便性の向上が考えられる。

□ 3Dマウスがなくても使用できる構造が普及には必要。

北海道当別町

都市の紹介

当別町の概要



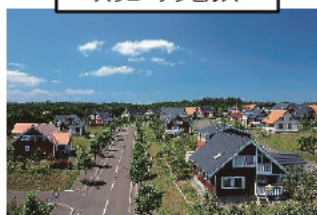
当別町

人口 ▶ 15,852人 (R1.12.1現在)

面積 ▶ 422.86km²
(横浜市437.8km²、宇都宮市416.8km²)

気候 ▶ 最高気温：30.3℃
最低気温：-19.2℃ (H30年度)

北欧の街並み
スウェーデンヒルズ



ふるさと納税 人気記念品

